

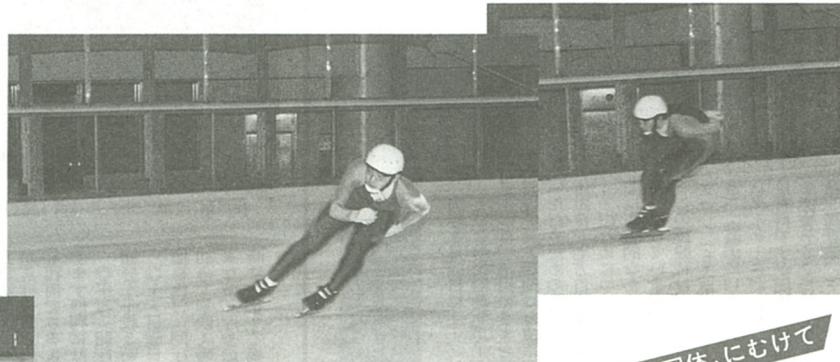


広報 えひな

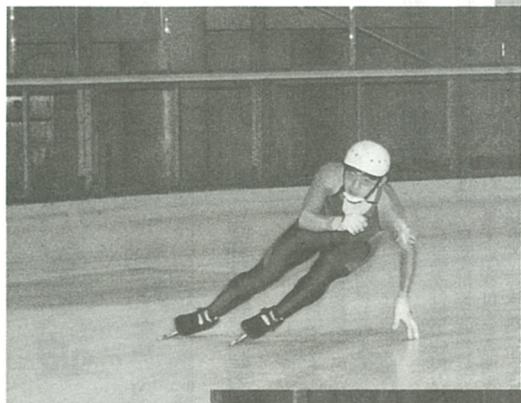
編集・発行
海老名市役所 広報広聴課
〒243-0492
神奈川県海老名市勝瀬175番地
☎ (0462) 31・2111

* この広報は再生紙を使用しています。

この時期、冬のスポーツは盛りだくさんで、最大のスポーツの祭典である長野オリンピックが今月7日から開催されますが、国民体育大会のスケートやスキー競技などの冬季大会も1月と2月に開催されています。寒さという厳しい自然と真っ向から対抗して克服していかなければなりませんが、その速さというスピード感の魅力に引かれ、銀盤のスケート競技へ取り組んでいる少年がいます。



「ゆめ国体」にむけて



ですが、男性で15～20%が普通の体脂肪率。やせ過ぎと言われる体脂肪率。この数値が高いとコーナーリングでの外へのふくらみやバランスをくずすことから、常に10～11位に保ちつつ、筋力アップを図っています。

身長168cm、体重65kg、選手として期待され、去年は大阪市で開催された全日本スプリント大会に出場し、暮れの30日には山

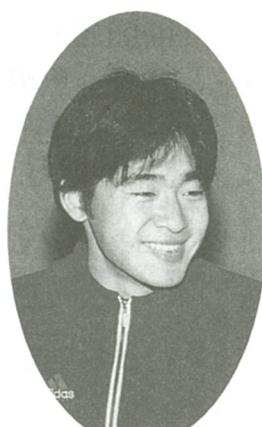


してはあまり大きくなない体ですが、ひとけりごとに加速し、ケリゴーそのまま直線からコーナーへ、強さと柔軟性を感じさせる姿勢で突入し、銀盤に横たわるようになります。

普段、帰宅後は、家族の応援を重ねるスケーティングの姿は、1本のレールの上を流れ、あたかも精密機械であるかのようになります。

菅さんは、日本で6人いる県での冬季国体出場選考会にも出場して、1月24日から28日までの「いわて銀河国体」の「千メートルスピードスケートの代表に選ばれました。

普段、帰宅後は、家族の応援を受けながら相模原のクラブに所属して活動を続け、水温マイナス8～9度に保たれるリンクの中で、白い息を吐きながら青春を燃やしています。



はきはきした受け答えが好印象な菅さん

銀盤のマシン

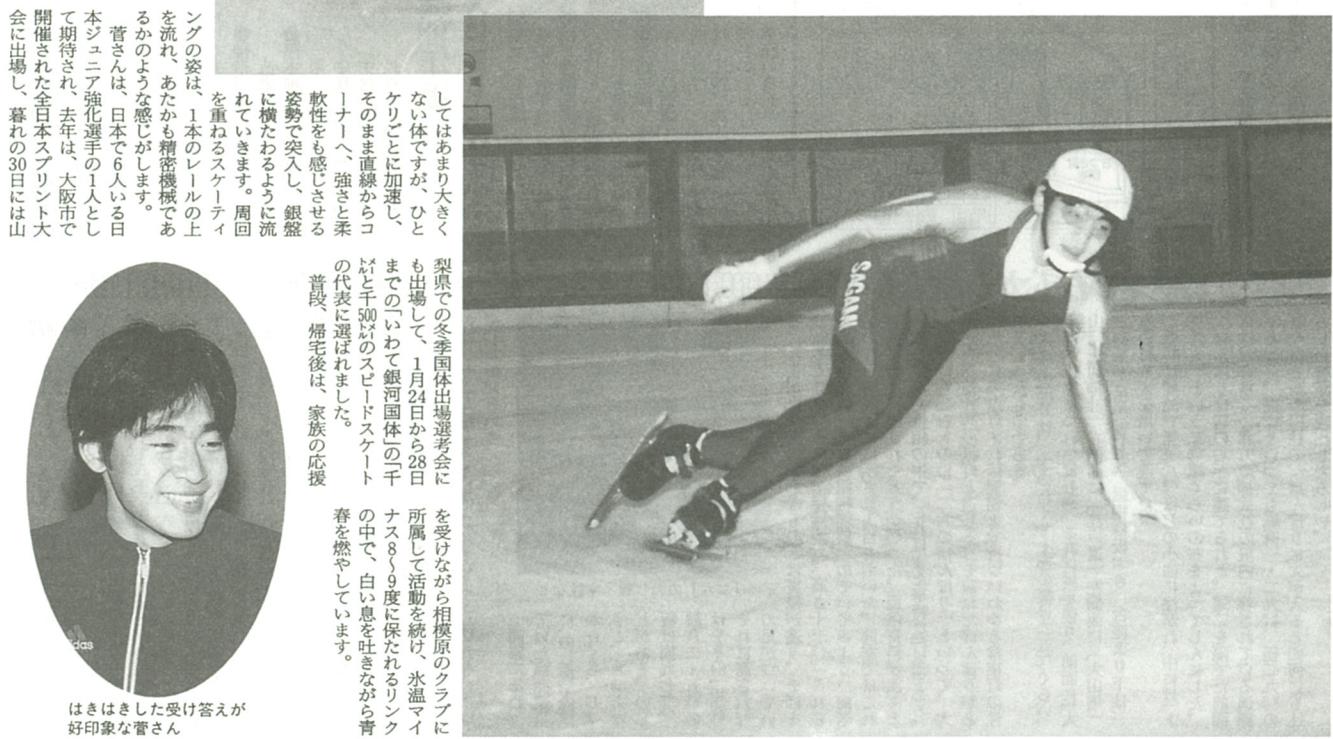
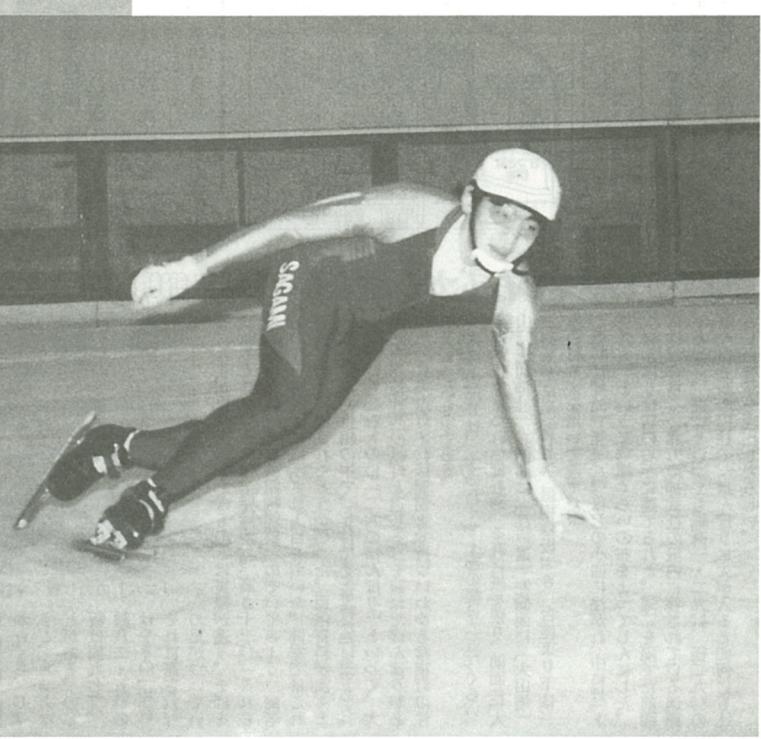
マシン

小学校2年生の時にスケート教室に入ったんですが、陸上競技より早く走れるその速さとスピードの魅力に引かれ、翌年には本格的なクラブへ通うようになつたんです」と話してくれるのは、県立愛川高校2年の菅智信さん(かん・ともぶ・下今泉在住)です。

スケートの競技は、1周400mのコースのスピードスケートと、学校の体育館などの大きさのコース、11・12メートルでそれぞれタイムを競うショートトラックがあります。菅さんはどちらかといふとショートトラックが得意と言います。

ショートトラックでの菅さんは、半径8mのきついコーナーでも時速40km前後のスピードですべり、トップスピードでは50km近くにも達するという速さで、風を体に受けて流れるようになります。

成人病への予防が叫ばれています。





鈴木杏奈ちゃん
1歳3ヶ月



松原理紗ちゃん
1歳3ヶ月

パパが、男の子がいいって言ったから、私、男顔になっちゃった。髪が伸びたら、女の子に見てくれるかな。(東柏ヶ谷・鈴木徹・千鶴さんの長女)

"My掃除機"で、お母さんのお手伝いを始めました。偉いですよ。前は音が怖かったけど、もう平気。今日も頑張るぞ。(杉久保・松原一郎・由美子さんの長女)



池島麗ちゃん
1歳3ヶ月



長曾我部未帆ちゃん
1歳3ヶ月

我が家娘は、キティちゃんが大好き。自分より大きなぬいぐるみ、毎日「ちゅう」をして、照れ笑いしています。(大谷・池島共恵利・貴美さんの長女)

大好きなすべり台に登ると、色々な所に手が届いて、楽しくいたずら出来ちゃうの。ママは、大変そうだけど…。(大谷・長曾我部勇・智子さんの長女)

まんまる赤ちゃん



フォトピックス

▲一面の雪景色▼

1月8日から9日の未明にかけてと15日、関東地方全域に2度にわたり大雪が降り一面の雪景色。海老名市で17.5cm(9日)と16cm(15日)の積雪量を記録しました。



▼新成人1809人誕生

1月15日、降りしきる雪の中、市文化会館で成人式が行われ、久しぶりの同級生との再会に、懇親も吹き飛ばすような元気な声が聞こえました。



◆大きな"かるた"目指して

1月10日、新春恒例の「ジャンボかるた大会」が、海老名小学校で行われ、親子連れなど150人が参加しました。今年は雪の影響で場所をグラウンドから体育館に変更しての開催でした。

「太鼓をたたくと胸がスリーツとして、いやなことを忘れてストレス解消になります」と話すのは、相州海老名東柏太鼓(島田健次会長)の会員たち。

東柏太鼓(島田健次会長)は昭和55年、会長の島田さんが小学生たちに太鼓の指導を始めたことがきっかけで結成された。現在は、少年部(幼稚園から小学生)と青年部(中学生以上)で総勢42人にもなる。青年部の中には、太鼓が好きで小学生からずっと在籍している人も多い。練習は毎週水曜日の夜7時から9時まで、東柏ヶ谷四丁目自治会館で行っている。住宅地で練習するため太鼓の音が大きく響かないように、太鼓や会館の窓に毛布やシーツをかけて練習しているなど苦労も多いようだ。

東柏太鼓は、えびなふるさとまつりをはじめ、全国太鼓フェスティバル、富士山太鼓まつり、県芸術祭など県内外の数々のイベントに出演し、5年ほど前には中国の北京へ行き、日中外交の行事にも出演している。

樂しい仲♪



ゆめ・国体での演奏も

その東柏太鼓が今年、直径が約90cmもある太鼓が、(財)自治総合センターのコミュニティ助成を受け完成した。この太鼓の披露目コンサートが、2月21日(土)午後7時から市文化会館小ホールで、入場無料で行われる。

また今年は、かながわ・ゆめ国体の、10月25日(日)海老名運動公園陸上競技場の開始式および10月29日(木)横浜国際総合競技場での秋季大会閉会式で、創作太鼓の演奏が予定されている。

相州海老名東柏太鼓では、現在入会者を募集している。「とにかく太鼓が好きでやる気のある方を探しています」と島田会長。太鼓をたたいてストレスを解消したい、ステージで演奏してみたいと思う方は、島田健次さん(169cm)まで問い合わせてください。

夏と秋の国体の開催時期には、筋力トレーニングやローラースケートなどで汗を流し、冬のシーズンに備えているという。地域性か

ら、北国とのハンディーがあるのは、との心配も「それは感じたことはないですが」と強気の発言が頗もしい菅さんでした。(小)

相州海老名 東柏太鼓